事業所名グループホーム夏みかん

作成日 ： 平成　26年 10 月 9 日

目 標 達 成 計 画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況（任意）
1	35	地域との協力体制を築いて防災災害時に備える	運営推進会議や防災訓練など地域代表の参加を呼びかけ、地域との関係を密にし、災害時に支援を得られるよう協力体制を築く	地域で開催される行事や活動への参加と協力を精力的に行う。 まずは、地域の避難訓練に参加する	12　か月	
2	2	地域の中学校との定期的な交流や買い物へ出向く事はしているが、町内の方との交流は今現在出来ていない	利用者と共に参加出来そうな地域の行事に出向き顔見知りになり、お互いの存在を理解出来る様になる	･買い物の継続 ･お店の方に地域の行事を教えて頂き参加する ･自施設での行事に参加依頼し定期的な交流を図っていく	12　か月	
3	49	本人の希望する外出支援が出来ていない	楽しみのある生活を送っていただく	季節や天気を考慮しながら散歩やドライブ、買い物など積極的に外出出来るよう支援していく ご家族様も一緒に出掛けられる行事を設ける	6　か月	
4					か月	
5					か月	

事業所名グループホーム夏みかん
作成日 ： 平成 26 年 10 月 9日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容（↓該当するものすべてに○印）	
1	サービス評価の事前準備	○	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		○	②利用者へサービス評価について説明した
		○	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		○	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他（ ）
2	自己評価の実施	○	①自己評価を職員全員が実施した
		○	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		○	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		○	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他（ ）
3	外部評価（訪問調査当日）	○	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		○	③対話から、事業所の努力･工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他（ ）
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	○	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		○	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		○	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
			④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他（ 次回の運営推進会議にて評価結果を報告する予定である ）
5	サービス評価の活用	○	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
			②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した（する）
		○	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した（する）
		○	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ（取り組む）
			⑤その他（ ）